

東海新報

平成27年(2015年)
8月14日 金曜日

よりよい環境目指し

震災後初の健康づくり推進協

陸前高田市



東日本大震災以降初による環境変化などを
となる陸前高田市の平 ふまえつつ、市民の健
成27年度第1回市健康 康保持につながる施策
づくり推進協議会は11 などのあり方を協議す
日、市コミュニティホ ー。
ールで開かれた。震災 委員は市内の医療、

福祉、産業、PTAを
はじめ各層の代表者22
人で構成し、この日は
14人が出席。協議会に
先立ち行われた委嘱状
交付式では、戸羽太市
長が出席委員一人ひと
りに手渡したあと「一年
齢を重ねても、この地
域でしっかりと生活
し、生きがいを持ち続
けられるまことにしてい
きたい」と述べた。

健康増進施策の必要性
を強調。会長には県立
高田病院の田畑潔院
長、副会長には市民サ
ークル・たかた☆ハッ
ピートウエーヴの松野
サカエ会長をそれぞれ
選出した。

委員はその後、23
26年度の保健事業概要
や震災後定期的に開催
されている保健医療福
祉未来研究会、東京大
学大学院医学系研究科
による健康生活分析調
査結果報告などについ
て解説を受けた。次回
の協議会は9月17日

協議会に入り、菅野
利尚民生部長が震災を
とりまく情勢変化や震
災後に市が掲げた「ノ
ーマライゼーションと
いう言葉のいらぬいま
ちづくり」をふまえた
田畑院長に委嘱状を
交付し陸前高田

(木)午後2時から市
コミュニティホールで
開催予定。11月に予定
している「健康のつど
い」や健康計画につい
ての協議が行われ、誰
でも傍聴できる。